

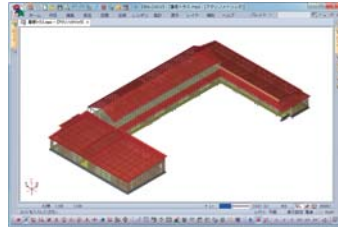
計算を省略できる条件

仕様など、簡易的な条件を満たすと計算を省略することができ、自動で条件を満たすかどうかを判定できます。条件を満たすと、計算書の出力枚数を削減できます。

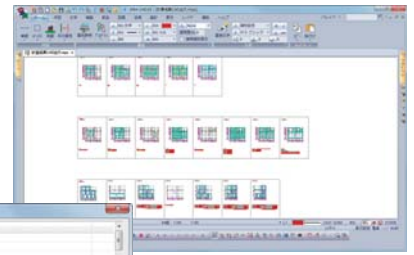
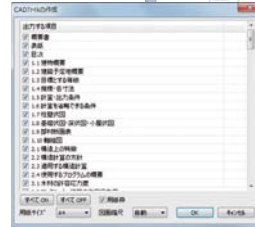
省略できる計算
地震力・風圧力に対する水平構面の検定
土台の曲げとアンカーボルトの引張の検定
横架材端接合部のせん断に対する検定
耐力壁下部横架材の短期曲げに対する断面検定
負の風圧に対する検定
・垂木-母屋接合部の引張耐力の検定
・母屋断面の検定
・母屋-小屋束接合部の引張耐力の検定

CAD出力

計算結果すべてを細かくレイヤ分け、頁ごとにグループ分け(DRA-CAD形式のみ)したCADファイルとして出力することができます。表示している状態の3DモデルをCADファイルとして出力できますので、構造モデルの加工やプレゼンテーションに利用できます。



3Dモデル



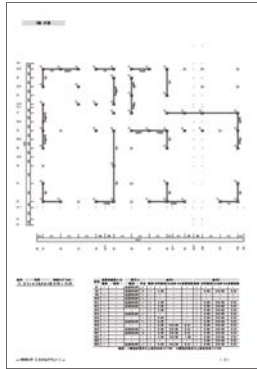
計算結果

保存できるCADファイル形式
mps, mpz, mpz, mpw, mpp, dwg, dxf, jwc, jww
※3Dモデルは、mpw, mpp, jwc, jwwで保存できません。

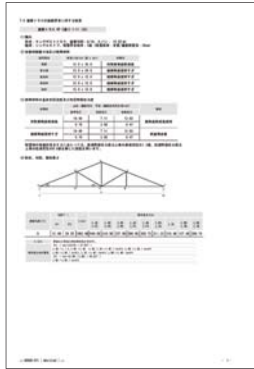
出力結果

伏図、軸組図、耐力壁の配置図、壁、床、屋根の荷重図などを出力します。

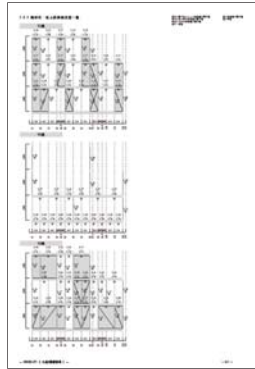
検定比、品確法の出力は、公益財団法人日本住宅・木材技術センターの記載例の形式に対応している短期荷重時検定比図と一覧表、計算例と同様の形式で出力します。



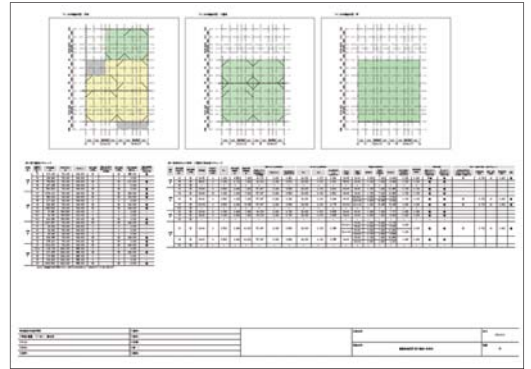
伏図



屋根トラス



検定比図



品確法

動作環境

対応 OS: Windows 10^{*1}/8.1^{*2}/7 SP1以降(64bit/32bit)
メモリ: 4GB
ディスク空き容量: 1GBのディスク空き容量
ディスプレイ: 1280×768
グラフィックス: OpenGLの機能をサポートできるビデオカードとドライバ
ライセンス認証: ネット認証^{*4}
インターネット接続: ネット認証時はインターネット接続が必要^{*3}
その他: CD-ROMドライブ

※1 Windows 10 Mobile/Windows 10 Sは除きます。 ※2 Windows RTは除きます。
※3 インターネット接続できない場合は、販売店または下記営業までお問い合わせください。
※4 ネット認証は仮想化環境では利用できません。

価格

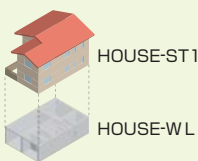
HOUSE-ST1 Ver.7.5 320,000円(税抜)

※ 教育版は下記営業までお問い合わせください。

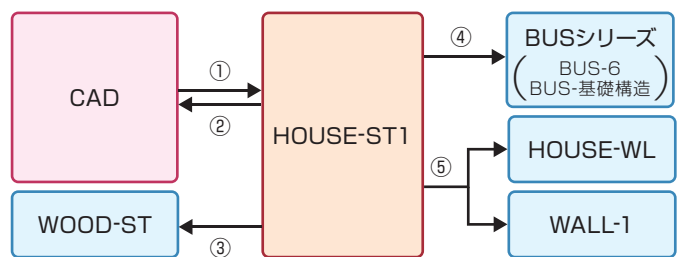
混構造建物の構造計算

HOUSE-混構造 パック

上部木造、下部壁式RC造の混構造建物の構造計算を行うためのHOUSE-ST1とHOUSE-WLをバックにした製品です。 価格 500,000円(税抜)



プログラム関連図



- ① CADファイル^{*}を下図として読み込み、伏図入力、屋根入力、風圧力の見付面積入力で利用できます。スパンと通り心名称をCAD図面から読み込んで自動設定できます。
- ② 配置データや3Dモデル、計算結果をCADファイル^{*}として出力できます。
- ③ 建物形状を転送できるので、在来軸組工法から集材材等建築物への設計変更も簡単に行えます。
- ④ 木造部分の建物重量を利用して混構造のRC/S階を構造計算します。
- ⑤ 木造部分の建物重量を利用して混構造のRC階を構造計算します。

※対応形式: mps, mpz, mpz, mpw, mpp, dwg, dxf, jwc, jww
3Dモデルは、mpw, mpp, jwc, jwwで保存できません。

在来木造の構造計算

HOUSE-ST1

「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)」に対応

「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)」に準拠
「木質系混構造建築物の構造設計の手引き」に準拠
「JIS A 3301を用いた木造校舎に関する技術資料」に準拠
「住宅の品質確保の促進等に関する法律」に準拠

簡単な操作と豊富な自動計算機能の在来木造の構造計算ソフトウェア

HOUSE-ST1は、木造軸組工法の構造計算を行うソフトウェアです。計算した結果は、伏図などと共に構造計算書として出力されます。3階建てのほかに、2階建て以下、最下階RC/S造、2階、2・3階木造の立面混構造に加えて、1・2階RC/S造、3階木造の立面混構造の木造部分の構造計算が行えます。RC造壁式構造部分は「WALL-1^{*1}」や「HOUSE-WL^{*2}」、RC/S造ラーメン構造部分は「BUS-6^{*3}」、木造集成材等建築物として検討する場合は「WOOD-ST^{*4}」とデータの連携ができます。

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター企画発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)」に準拠した構造計算に加え、屋根トラス(JIS A 3301^{*5}を用いた木造校舎に関する技術資料のTG2)や高倍率耐力壁を扱った大空間の構造計算を行います。住宅の品質確保の促進等に関する法律(品確法)に基づいた構造の安定に関する計算にも対応しています。これは、長期優良住宅の「耐震性」認定基準にも用いられます(品確法の「構造の安定」の耐震等級2または等級3)。

- *1: 壁式鉄筋コンクリート造建築物の一貫構造計算ソフトウェア。
- *2: 小規模壁式鉄筋コンクリート造建築物の一貫構造計算ソフトウェア。
- *3: RC/SRC/S造建築物の一貫構造計算ソフトウェア。
- *4: 木造集成材等建築物の一貫構造計算ソフトウェア。
- *5: 木造校舎の構造設計標準。